



Downstream

から
学ぶ

DX

受講者募集

受講料
無料

事業規模が小さくなるほどDX化が進んでいない現状において、DXに関わるリスキリングプログラムを通して、小規模企業等でも、デジタル技術やデータの活用で業務における課題や限界を突破し、そこから新たな価値の創造を構想できる人材の育成を目指します。

DXの推進は、中小企業に

企業のこんなお悩みはありませんか？

- 企業の成長や新規事業などに課題をみつけない
- DXについて基本から習得したい
- PC操作にとどまらない高度なデジタルIT技術を学びたい
- 製品管理や出荷作業などを自動化・機械化し、人件費や労力を低減したい
- 企業の教育システムなどに課題を感じる
- 事業責任者になるためのスキルを習得したい

事業のDXの具体化とその実現をサポート

事例&導入

対面ワークショップ

2日間

90分×8(12時間)

Module 科目

e-ラーニング+〈オンライン会議〉

15週間

90分×30(45時間)

※7.5時間はオンライン会議でのスクーリング

評価

対面ワークショップ

1日間

90分×2(3時間)

DXの具体的な事例について学ぶことで、DXの可能性に関する「気づき」や「意識」を高め、自ら志す事業のDXプランの具体化と、その実現の可能性を評価することができます。

このプログラムを終了した方には、「**修了認定証**」をお渡しします

受講期間：2022年11月20日～2023年3月4日

総講義時間数：60時間(90分授業で40コマ分)

対象業界：サービス業、小売業、卸売業、食品生産・加工業、製造業、農業、水産業、IT業、金融業など

主な対象年齢：20代後半～50代前半

定員：60名(お申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります)

受講料：無料

お問い合わせ：downstreamdx@gmail.com (DDXリカレントプログラム事業担当)

※官民、地域、規模、雇用形態問わずどなたでも受講可能です

こそ求められています！！

プログラムの概要

事例&導入ワークショップ

<対面で実施>: 12 時間 (90 分授業で 8 コマ)

DXへの気づき・意識づけを得るためのワークショップです。同じ課題意識を持つ受講生と顔を合わせてディスカッションができます。

また導入部分では、共通スキルであるシステム化の実習として SONY MESH 等を用いての実習を行います。個別にフォローをおこないながら実施するため、プログラム未経験者でも安心して受講が可能です。

Module 科目

<e-ラーニング>: 45 時間 (90 分授業で 30 コマ)

※7.5 時間はオンライン会議でのスクーリング

約 60 の豊富な科目群から受講者の目的にあわせた科目を選択し受講することができます。「1. ハードウェア制御系」「2. データ系」「3. コンテンツ系」の複数の系統を組み合わせることもでき、スーパーバイザーが選択をサポートします。約 60 科目の講義は、オンラインで受講可能。動画教材の配信となるため、仕事をしながらでも好きなタイミングで学ぶことができます。

3 週間に 1 回、拠点大学間をインターネットでつなぎ、オンライン会議によるスクーリングを行います。スクーリングでは Module 科目履修の進捗状況や 15 週間の間に履修者の方々に考えていただく「コンセプト立案」と「コンセプト検証：PoC (Proof of Concept)」に向けた準備をスーパーバイザーとともに進めます。

評価ワークショップ

<対面で実施>: 3 時間 (90 分授業で 2 コマ)

職場での PoC の結果を、ワークショップ形式で評価、再検討します。さらに学びを深め、大学院など先進領域への接続教育なども可能です。個別の実践例に対する細やかなフィードバックを行います。

開催日時・場所

- **事例 & 導入** 日時：11 月 20 日 (日)・23 日 (水・祝)〔2日間〕
場所：仙台市内、山形市内、郡山市内を予定
- **Module 科目** 日時：11 月から 3 月の 15 週間に受講
場所：オンライン講座の受講とオンライン会議
- **評価** 日時：3 月 4 日 (土)
場所：仙台市内および遠隔での実施を予定

実用的でさまざまな分野の習得が可能です

Module 科目等における主な学びの種類

1 ハードウェア制御系

デジタル技術の実装に必要な各種モーターの特性、モーター制御、各種センサの理解、センサの出力情報処理等を学ぶことができます

(ETEC (組込み技術者試験制度) のクラス2、IoT システム技術検定基礎 (IoT アドバイザ) 「センサ / アクチュエーター技術と通信方法」領域相当の能力を習得)

科目例

ドローンの基本 / 応用、スマートフォンによる遠隔操作、半導体と電子回路、コンピューターによる論理回路設計、電子計測制御の概要、制御プログラム、シーケンス制御、フィードバック制御、運動制御、センサ / アクチュエーター、半導体センサ (基本特性)、磁気センサ (動作原理)、圧力センサ、化学センサ、バイオセンサ、光センサ、センサー出力情報処理技術総論、半導体と電子回路、電子測定、電子計測制御の概要、制御プログラム 等々

2 データ系

データ活用のためのデータ処理、統計解析等、データサイエンスの基礎となる知識を学ぶことができます

(統計調査士・データ解析士、統計検定2級相当の能力を習得)

科目例

データとは、リレーショナルデータベース、データ収集方法、データクレンジング、データ整理・整形、モデル手法、分析手法、分類による予測、クラスタリングによる分類、ニューラルネットワークとその仕組み、テキストマイニング、画像認識、データの可視化、分析基礎、データ自動処理、テーブルとテーブルのデータ管理、数式や関数を使用した演算、感性評価 等々

3 コンテンツ系

デジタル技術を活用した Web デザイン、DTP デザイン、VR 動画構築・編集など、企業コミュニケーション活動全般に関わる技術を学ぶことができます

(ウェブデザイン技能検定3級相当、Adobe Certified Professional 相当の能力を習得)

科目例

デジタルコンテンツ構築、デジタル映像データ、Web 制作技法、UI・インターフェース構築、SNS の理解と活用、YouTube の理解と活用、Web ブランディング、VR・AR の理解と活用、コンテンツ評価、E コマース、デジタルパブリッシング、データビジュアル技法、データ映像表現、データ映像加工、工芸技法のデジタル化、ユニバーサルデザイン、デジタル色彩論 等々

<プログラム連携体制>



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY



山形大学
Yamagata University



秋田公立美術大学
ARITA UNIVERSITY OF ART



College of Engineering, Nihon University
日本大学工学部



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

<主な協力企業>



タマカスタジオ
TAMAKA STUDIO

Gugenka®



INSIGHT LAB



PARAMOUNT
株式会社パラマウント



PRIMECAST
Create High Quality & Artistic

<主な自治体・関連団体>

宮城県 (経済商工観光部) 東北ニュービジネス協議会 会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 長井市 長井商工会議所 日本DX推進協会福島支部

<お問い合わせ>

downstreamdx@gmail.com (DDX リカレントプログラム事業 担当)